

日 時：平成 27 年 12 月 22 日（火）18 時 30 分 ～20 時 10 分

場 所：鳥海会館

対象町会：沖館

参加人数：12 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○集会施設の屋根の塗装について (市民からの要望・質問)</p> <p>鳥海会館の修繕の際に市の担当へお願いして見積書を取ってもらおうと、法令に則った作業工程の内容になるため、どうしても金額が高額になり、町会の負担分も大きくなってしまふ。町会で独自に見積書を取り工事した方が安く済むケースもあるため、町会の方で工事を実施して、これに対して市から補助金を出すことはできないのか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鳥海会館など市が所有している集会施設の修繕については、市が修繕費を全額支払い、町会から負担金を納めてもらうことが原則となる。見積書については市の指名業者から徴収することになるが、もし町会の方で指名業者から見積書を徴収するのであれば、それを市へ提示していただき、その金額の結果を見て市でも検討する。</li><li>・市で屋根などを修繕する際には、平屋の施設でも足場を組んで工事を実施するため、どうしても費用が高額になる。これは法令の基準に則っているためであり、これを無視して事故が起ると市の責任がとてつもなく大きくなる。</li></ul> <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>指名業者については、担当課へ聞けば教えてくれるのか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・等級は教えられないが、指名業者名は公表しているので可能である。</li></ul>
<p>○農政審議会の開催状況について (市民からの要望・質問)</p> <p>農政審議会は、農業関係の各団体の長が委員となっており、会議では農業者からの要望を市へ伝えてきた。ただ、ここ 3 年くらい前から開催されていないと聞いている。その理由は何か。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事務局は経済部になるが、最低でも 1 年に 1 回は開催していると認識していた。開催状況は確認してみる。</li></ul>

○小中学生が全国大会へ出場する際の助成について

(市民からの要望・質問)

小中学生が団体競技で全国大会へ出場した場合は、市からある程度の助成があるらしいが、個人競技で全国大会へ出場した場合も旅費などの最低限の部分だけでも市から助成してもらえないか。

(市の回答)

- ・市の小中学生が学校の部活動で全国大会などへ出場する場合は、その旅費は原則、市が支出している。当市は、近隣市町村と比べても一番手厚いと思う。
- ・大会の種類や所属しているチームなど様々な基準やルールはあるが、学校の部活動で全国大会などへ行く場合には、必要な経費はできるだけ市が負担している。

○合併特例債と大相撲の開催について

(市民からの要望・質問)

合併特例債の起債と交付税について、行政用語をできるだけ使わずにわかりやすく簡単に説明してもらいたい。また、平成28年8月17日に大相撲が来るとのことだが、開催場所や実施方法などはどうするのか。市民へチケットを優先的に販売する予定などはあるのか。

(市の回答)

- ・合併特例債を簡単に説明すると、例えば1億円の事業を行うとした場合、合併特例債の充当率は95%なので、国から9,500万円を借りることができる。そのうちの7割が後で交付税として市に入ってくるため、実質3割の約3,000万円の自己資金があれば、1億円の事業を実施することができるというものである。
- ・合併特例債は、当初10年までの予定であったが15年に変更され、あと5年間は使えるようになった。当市でも今後、小中学校や文化センターの改築、本庁舎や体育館の建設などが続くため、施設の建設などの際には有効的に活用したいと考えている。
- ・大相撲の開催については、現在、体育協会が実行委員会を立ち上げて準備に当たっている。市でも合併10周年記念事業ということもあり、少しでも安く市民の方へチケットを販売するため、補助金を出す予定である。現時点では普通よりも1席3,000円くらい安い価格設定を考えている。開催場所はひらかドーム。座席数は2,700席になる予定である。
- ・チケットは市民に優先的に販売する。市の補助金を使うため、市民だけが安く買える。ただし、どのようにして市民を見分けるのかなど様々な課題もある。具体的な販売方法は決まっていないが、決定次第周知する予定である。

○大木の撤去について

(市民からの要望・質問)

町会にある大木の撤去について、見積書を取ったところかなりの高額になったと聞いた。金額が大きいと町会としても難しい問題になるが、何か良い解決策はないか。

(市の回答)

- ・だいぶ前から要望があった件だが、今回改めて見積書を徴収したところ、電線の関係もあり80万円近い金額となった。市としても個人の所有物には簡単には手を出せないため、難しい問題である。以前に市からは、中山間事業を活用してはどうかと町会へアドバイスしたらしいが、町会の中でも意見がまとまらず、まだ解決策が見い出せない状況である。今後も何か良い解決策がないか考えていく。

○空き家問題について

(市民からの要望・質問)

私の家の近所に家屋も小屋も潰れている箇所があり、タヌキやヘビが住み着いている。個人の所有物ということで難しい問題なのはわかるが、もしここを何とかできれば道路の雪置き場などにも活用できると思うのだが。

(市の回答)

- ・この件は、昨年度のまちづくり懇談会でも出た意見だと思うが、ここの所有者は市外に住んでいる方で、建物の倒壊や雑草、屋根雪など生活環境面で問題がある場所だと市でも認識している。これまで市では冬期間の適正な管理について、所有者へ是正を依頼しているが、冬期間以外の環境衛生面の件では依頼したことがなかった。今後は、土木課や市民課とも協議し、そのうえで所有者へ是正を依頼していく。
- ・空き家条例が制定されたので、今まで以上に行政指導ができるようになった。だからと言って個人の所有物には簡単には手が出せない。一昨年の状況では、423件の空き家が市内にあり、今はもっと増えているはずである。県内でも10万件、全国だと1,000万件を超えると言われている。解体費用も高いため放置されている現状もある。
- ・市では、使える空き家を利用して、移住者に提供するなどの事業を考えているが、元々が個人の所有物であるため、難しい問題である。

○通学路と県道の速度制限と街路灯について

(市民からの要望・質問)

当町会内の道路は狭く、子どもたちが通学するのも大変である。できれば「通学路」という表示を設けてほしい。また、町会内の県道は現在40km制限であるが、走行している車はかなりのスピードを出している。可能であれば20km制限に変更してほしい。

(市の回答)

- ・スピード制限の件に関しては、警察も関係してくるため、可否を含めて警察に確認してみる。また、通学路の表示については、設置方法や場所など色々と確認する部分もあるため、教育委員会内で協議し後ほど回答する。

(市民からの要望・質問)

通学路の街路灯の電気が切れているところが非常に多い。冬が近づくと日没が早くなるため、たまには巡回などをして確認してほしい。

(市の回答)

- ・今年度中に市内の街路灯はすべてLEDにする予定である。LEDに付け替えるため、電気が切れていても交換しないで待っているところもあると聞いている。ただし、これも一気ににはできないため、市内を4カ所に分けし順次交換している。
- ・街路灯のLED化については、9月に入札し、10月を準備期間とし現場を確認、11月から工事に着手している。電気を扱う業務のため、天候によっては進まないこともあり、若干計画よりも遅れ気味である。沖館地区は12月末、新館地区は1月末から工事が始まる予定であるが、日程は改めて連絡する。

○融雪溝について

(市民からの要望・質問)

市内の道路に融雪溝は設置できないのか。

(市の回答)

- ・融雪溝や流雪溝については、現在設置されていない町会からの要望がかなりある。ただし、設置するにしても水量や水温、流末の確保、電気代やポンプ維持管理費の負担などの問題があり、現在設置されている町会からは町会負担が厳しいとの声もある。将来的には豪雪に対応するためにも設置を推進していくべきだとは考えている。
- ・融雪溝や流雪溝については、単価は高額だが、できるだけ設置を進めていきたいと考えている。維持管理には地域住民の協力が不可欠であるが、中には協力してくれない方もいるようである。地域が協力し合いながら管理していけるかが一番重要である。

○冬のイベントについて

(市民からの要望・質問)

今年初めてイルミネーションのライトアップを実施したが、弘前市と比べると見劣りしてしまう。来年度もやるのであれば規模を大きくするなどやり方を考えてほしい。また、今年は大晦日に冬のねぷたを行うが、去年は二日間とも雪で中止になった。あらかじめ宣伝しているのであれば、中止ではなく延期にするべきではないか。今年の冬のねぷたも天気が悪ければ中止になるのか。

(市の回答)

- ・昨年までの冬のねぶたは、東北新幹線の開業に合わせて5年間実施し、一区切りがついた。今年は市制施行10周年の記念事業として、一回限りではあるが大晦日に行くことにした。確かに昨年は二日間とも中止になったが、これは降雪によりねぶたを町会から運搬することが困難になったためである。今年は健康センター駐車場にねぶた小屋を建てて当日の運搬に関しては対策を図った。天気が悪ければ当日の運行自体はできない可能性はあるが、それでも祭り自体は中止せずに、健康センター駐車場でねぶた囃子やその他のイベントなどを実施し、全国に平川市の10周年を発信したいと考えている。
- ・イルミネーションについては、来年度も引き続き実施する予定である。実施方法やデザインなどはもう少し工夫を凝らして行いたい。また、市内の民間企業や市民の方の協力を得ながら実施していければと考えている。

○プレミアム商品券について

(市民からの要望・質問)

プレミアム商品券の販売は来年も実施するのか。実施するのであれば不公平感が出ないようにしてほしい。

(市の回答)

- ・今年度は総額2億4,000万円ほど商品券が出ている。当市は販売方法を工夫し、他と比べると苦情が少なかった方である。
- ・これは国の事業であり、来年度は実施されないと思う。

○浜松市でのトップセールスの感想について

(市民からの要望・質問)

先日、静岡県浜松市へりんごのトップセールスに行ったと思うが、その時の感想を教えてください。

(市の回答)

- ・昨年に引き続き浜松市でりんごのセールスを行った。お客さんからの反応も上々で、市場の方からは来年も来てほしいとの依頼もあった。可能であれば今後も継続して行きたいと考えている。
- ・今年はふるさと納税も好調で、総額1億円を超えた。全国各地から申し込みが殺到しており、なかなか発送が間に合っていない状況ではあるが、市のりんごや桃を全国に売り込めればと考えている。